



西村京子さん
(水口町鹿深)

今の時代の良いものを伝えたい

絵手紙や布人形など、身近な素材を使い素朴で温かみのある作品を創作されている西村京子さん。

家庭の仕事などが一段落し何かしてみようと思っていたころ、たまたま絵手紙に出会ったのがキッカケで、以来約20年間ほぼ毎日書き続け、出来上がった作品は数千枚にもなるそうです。

「絵と文字が組み合わさることで自分の思いがストレートに表現できることが最大の魅力です。また絵手紙には“下手でいい、下手がいい”というキャッチフレーズがあります。自由気ままに自分の見たこと、感じたことを書いて楽しんでいます。」と話す西村さんですが、地域や小学校などでも絵手紙の魅力を伝えるなど幅広く活動されています。

また、5年前からは、着物などを使って人形や花などを作る布工藝も始められました。

ご自宅の一室には、着物の素朴な風合いを生かして作られたかわいい人形が所狭しと並んでいます。昨年にはこれらの絵手紙と布人形で、ご自身初の個展も開催されました。

「絵手紙に書く風景やそこに書く思い、人形の素材に使う着物、どれも今の時代にある素晴らしい財産だと思います。若い人たちにこの良さを伝えられたらうれしいです。これからも“イキイキ”としながら続けていきたいです。」と話す西村さん。素朴で温かい素敵な作品は、これからもたくさん生み出されるに違いありません。



▲温かい雰囲気を出す西村さんの作品



映画館のスクリーンで絵本楽しむ

～シネマ de えほん～

映画館の大きなスクリーンに絵本を映し、読み聞かせするイベント「シネマdeえほん」が、6月13日、水口アレックスシネマで行われました。

このイベントは、子育て情報誌の発刊などで活動される「ピースマム」が、親子で映画館を楽しんでもらおうと企画、市内では初めての開催となりました。

この日は、小さなお子さん連れの親子ら100名が参加、子どもたちはスクリーンに映し出される大迫力の絵本にびっくり。おもしろおかしい朗読に歓声を上げながら、絵本ワールドに引き込まれました。



▲スクリーンの絵本に見入る参加者の皆さん

60年の時を越え交流

～甲南第二小学校～

甲南第二小学校を60年前に卒業された皆さんが、卒業60周年を記念し、6月14日、母校を訪れ児童と交流を行いました。

この日は、1950年に同校を卒業された同窓生のうち、13名の方が来校、当時の遊びを紹介し、全校児童が学びました。

児童は、紙鉄砲やこま回し、メンコやあやとりなど、子どもたちにとっては少々珍しい遊びを体験、卒業生の皆さんからコツを教わり、楽しく遊ぶことができました。

また、卒業生の皆さんが制作された、当時の写真を使った紙芝居では、60年前の同校の様子などを紹介、貴重な話を聞くことができました。



▲あやとりを教わる児童

市内中学校の吹奏楽部が競演

～ユース・プラス・フェスティバル～

市内6中学校の吹奏楽部が一同に会し、発表する「ユース・プラス・フェスティバル」が6月5日、あいこうか市民ホールで行われました。

この演奏会は、音楽を通じて交流を深めることを目的に、水口ロータリークラブ主催で初めて行われたもの。当日は席に座りきれないほどの大勢の方が会場を訪れ、生徒の演奏を楽しみました。

各中学校からは、クラシックやポップスのおなじみの曲を披露、日ごろの練習の成果を発揮すると、会場からは惜しみない拍手が贈られました。



▲演奏を披露する吹奏楽部の皆さん

ササユリをもっと知るために

～みなくち子どもの森・ササユリ守り隊～

織 細な姿形と甘い香りが魅力の市の花ササユリ。市内では地元の方が熱心に保護活動されていることもあり、その姿を見ることができず、栽培が困難なため、全国的に希少な花となりつつあります。

そんなササユリをもっと知るために、6月6日、みなくち子どもの森で、自生するササユリを鑑賞しながら学ぶ「ササユリ守り隊」が行われました。

この日は、野草の愛好家や家族連れの方が集まり、子どもの森内の自然の観察や、ササユリの特性などについて学びました。

この日、同森のササユリはまだ咲いていませんでしたが、大きなつぼみをつけていることが確認でき、約1週間後にかれんに花を咲かせました。



▲ササユリを観察する皆さん

学習 教習コースで交通ルールを

柏木小交通安全教室

甲賀自動車教習所で、6月15日、自動車教習コースを使った交通安全教室が行われ、柏木小学校1年生の児童が交通ルールを学びました。

児童は、交通安全に関するビデオを見て交通ルールを確認し、その後、教習コース内の車が走る交差点で横断歩道を渡る練習を行いました。水口警察署の方の指導により、道路の渡り方を教わった児童は、左右を確認しながら安全に渡ることができました。

また、この日は白バイも登場、周近で見ると格好良い白バイに児童は大喜び、警察の方にいろいろな質問をしていました。最後に一人ずつ白バイに乗せてもらって記念撮影、楽しい教室で児童は交通ルールをしっかり学びました。



▲コース内で道路を渡る練習をする児童



▲白バイの説明を聞く児童